

Twitter におけるセレンディピティを考慮したユーザ推薦手法に関する研究

安部 高城

ソーシャルメディアでは, follower や followee などユーザ間のネットワーク形成が重要な課題となっている. このため, ユーザにとって発見が難しく, かつ満足度の高いセレンディピティのあるユーザの推薦が望まれている. 本研究では, Twitter を題材に, ユーザが投稿したツイートとフォロー関係に基づいてセレンディピティのあるユーザを発見し, フォロー先ユーザとして推薦する手法を提案する. ツイートの内容からユーザ間の類似度を算出し, フォロワーとの類似度とセレンディピティとの相関を調査し, ユーザの満足度向上を目指している.

提案手法の特徴は, ユーザ間の類似度をユーザのツイートから判定し, ユーザのフォロー関係から被推薦ユーザに対してセレンディピティのあるユーザを推薦する点にある. ユーザのツイートを Twitter API から取得し, 形態素解析を行うことでツイートから名詞を抽出する. ユーザのツイート集合から抽出した名詞をユーザの興味を表す特徴量とする. また, 被推薦ユーザが既にフォローしているユーザのなかで, 類似度の低いユーザに着目する. 被推薦ユーザがフォローしているにもかかわらず, 類似度が低い, すなわち興味が似ていないユーザがフォローしているユーザのなかにセレンディピティのあるユーザが含まれていると仮定した.

本論文では, 提案手法の有用性について評価・検討をしたので報告する.

(指導教員 佐藤 哲司)